

## 昭和 60 年当時の規模要件の設定について

昭和 60 年の検討では、伝熱面積 10 m<sup>2</sup>に相当する排出ガス量を求め、それに見合う燃料使用量を規模要件とすることとした。

図のとおり、昭和 60 年の改正時の資料では、伝熱面積 10 m<sup>2</sup>に当たる排出ガス量は 500 m<sup>3</sup>/h であった。この値に相当する燃料使用量から燃料使用量 50 L/h の基準が得られた。

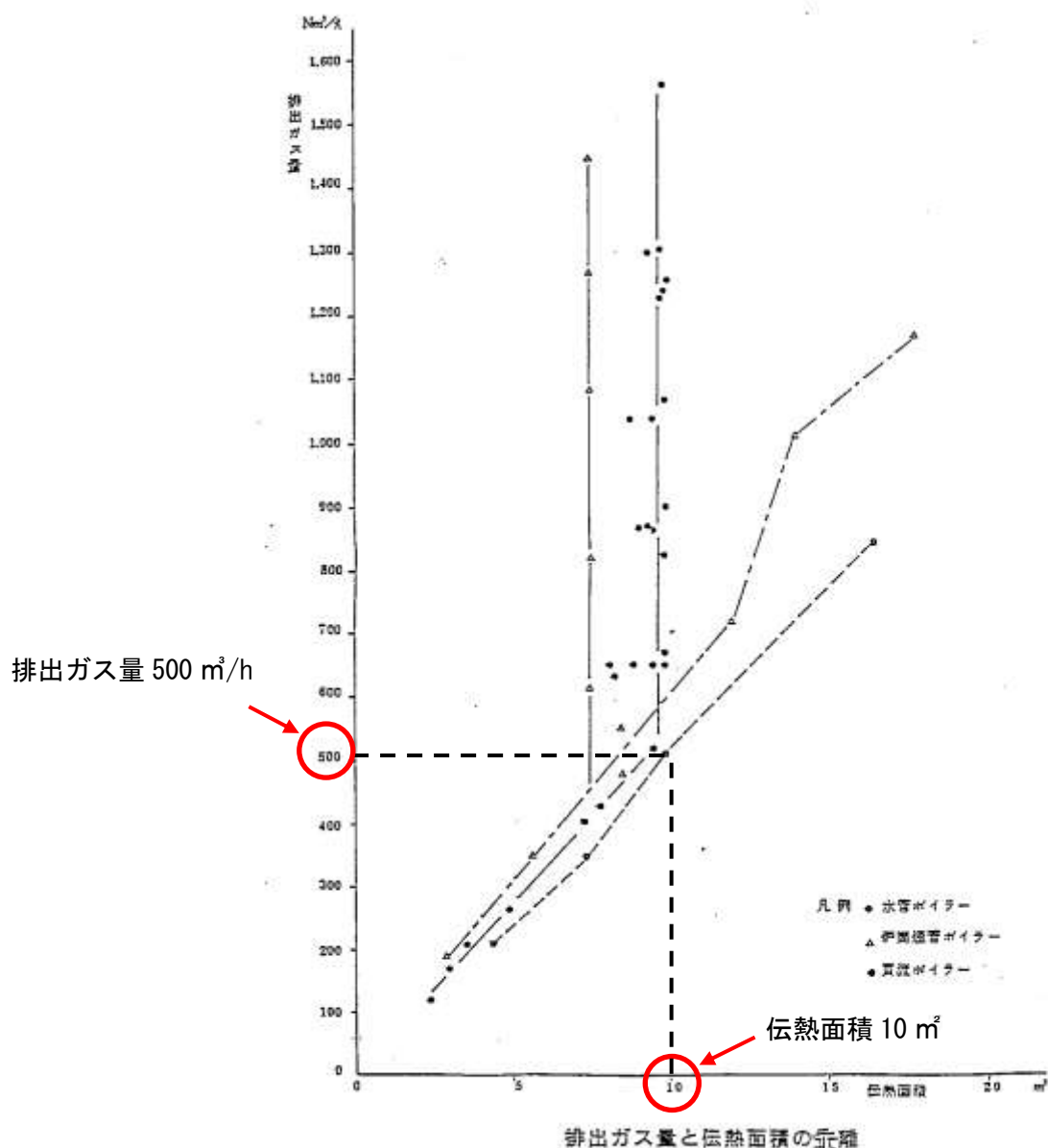


図 昭和 60 年改正時の資料 (排出ガス量と伝熱面積の乖離) (一部改変)